

1

2

3

4

5

A

B

C



グアム島マップ

6

7

8

D

E

F



グアムについてあなたが知らなかった10のこと 10 things you didn't know about Guam

01

島にあるホテルルームの90%がオーシャンビューである。

宿泊施設が集中するタモン地区をはじめ、グアムにあるホテルの客室約90%から海を望むことができる。遠浅で高い透明度を誇るエメラルドグリーンの海を眼下に朝を迎えよう。



02

街中にラッテストーンをモチーフにした建物がある。

9〜17世紀に作られたチャモロ文化の遺跡、ラッテストーンは高さ2mほどのキノコのような形をした石柱。用途や意味はいまだ謎のままだがグアムのシンボリック存在だ。街中にはモチーフとした建物があり、ハガニア地区のグアム政府展望台はまさに巨大ラッテストーン。



03

政府公認の土産がある。

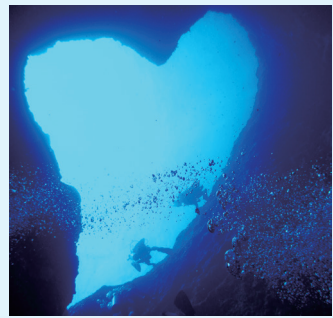
街中のショップや免税店で販売されている土産のなかに、グアム島内で作られたものであることを証明したグアム政府公認商品が存在する。土産選びが困ったら「Made in Guam」と書かれたアームド型のマークを探してみればいかがだろう。



05

ハートの海がある。

グアムで最も有名なダイビングポイントと言えばブルホール。水深18m地点に空いたハート型の穴からは、透明度30mを越す美しい青の海が覗く。ダイバーなら一度は訪れたい名所のひとつ。



06

グアムの国民的ソースは酸っぱくて辛い。

醤油、酢、レモン、玉ねぎ、チリを合わせた酸っぱい調味料フィナニソースはグアムの定番調味料。マクドナルドやケンタッキーフライドチキンにすら置いてあるので、レストランで味を変えたくなったら頼んでみよう。ちなみに同ソースもそうだが、グアム人はピリ辛好きで「タバスコ」のひとりあたりの消費量は世界一だ。



07

北斗七星と南十字星を同時に見ることができる。

赤道近くに位置するグアムでは、日本では沖縄など一部地域でしか目にするこのできない南十字星と、北斗七星を同じ空に見ることができる。季節は春から夏にかけての宵の口がベスト。



ハガニアマップ

08

絶滅危惧種のココバードが生息している。

グアムにはココバード（グアムウイナ）と呼ばれる固有の鳥が生息している。この飛べない国鳥は、車が増えたことや、第二次世界大戦以降に入ってきた外来種の餌食となったことで数が激減し、絶滅危惧種となってしまった。現在は南部の自然豊かなココス島で保護されているので、愛らしい姿を目見に行ってみては。



09

店のすべてが免税である。

輸入関税のからない自由貿易港であるグアムでは、高級店でハイブランドのバッグを購入しよう。ABCストアでチョコレートを買おうと、消費税がからない上に州税もない。思い切りショッピングを楽しもう。

10

毎週末、ランイベントが開催されている。

グアムでは毎週末と言っていいほどタモン地区やハガニア地区でジョギングレースが開催されている。通称「5K（ファイブケー）」と呼ばれる5kmの距離が一般的。5Kへの参加を目的にグアムへ訪れる観光客も少なくない。多くは朝6時スタートで当日参加も可能。

